

第22回

新潟技調講演会

伏木富山港（新潟地区）

全国土木施工管理技士会連合会 CPDS プログラム
認定番号 676096（3ユニット）

日時 令和3年12月9日（木）
13:30～16:00

会場 新潟市民プラザ（NEXT21 6階）
新潟市中央区西堀通六番町866

基調講演

「係留施設の耐震対策および地震後の使用可否判断」

講師プロフィール

こはま えいじ
講師：小濱 英司 氏

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 地震防災研究領域
耐震構造研究グループ グループ長

略歴

- 平成12年運輸省入省
- 港湾技術研究所 構造部
地震防災研究室 研究官
- 独立行政法人 港湾空港技術研究所
地盤・構造部 主任研究官
- カリフォルニア大学バークレー校赴任
- 国土交通省 横浜港湾空港技術調査
事務所 設計室長
- 地震防災研究領域
耐震構造研究チームリーダー
を経て現職。



プログラム

- | | |
|-------|---|
| 13:00 | 開場 |
| 13:30 | 開会 |
| 13:35 | 挨拶 新潟港湾空港技術調査事務所長 増門 孝一 |
| 13:40 | 基調講演
「係留施設の耐震対策および地震後の使用可否判断」
小濱 英司 氏 |
| 15:20 | 報告
・「水理模型実験による輪島港防波堤の
改良検討について」
新潟港湾空港技術調査事務所 成澤 琳
・「大型浚渫兼油回収船「白山」への
改良型投げ込み式油回収器の搭載について」
新潟港湾空港技術調査事務所 市川 大聖 |
| 16:00 | 閉会 |



主催／国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所

新潟港湾空港技術調査事務所の役割 未来へ導く確かな技術

〈未来に向かう技術開発〉

- 港や海岸などの環境を守るための技術開発
- コスト縮減につながる新設計手法の確立
- 港などの構造物保全のための技術開発

〈港の安全のために〉

- 航行安全・海洋環境保全のための作業船の整備
- 安全施工のための技術開発

〈人々の暮らしのために〉

- 人々の暮らしを支える物流拠点となる港などの設計
- だれもが使いやすく、安全で親しまれる公共施設的设计

〈海を知るために〉

- 港の整備に必要な不可欠な波などのデータベースの管理・活用
- 波や港の構造物などに関する調査・実験

アクセス



バス
 JR新潟駅万代口
 (北口) 駅前バス
 ターミナルより萬
 代橋ライン、浜浦
 町線、信濃町線、
 鳥屋野線、有明線、
 西小針線で「古
 町」バス停下車、
 徒歩1分

お車
 新潟バイパス桜木
 ICより約15分

申込み方法

定員：150名(先着順)

〆 切：11月25日(木)必着

申し込み：FAX・はがき・Mailのいずれかで、
 申込用紙の内容をご送付願います。

●住所：〒951-8011

新潟市中央区入船町4丁目3778番地

●FAX：025-227-1205

●Mail：pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp

問い合わせ先：新潟港湾空港技術調査事務所 調査課

TEL:025-222-6115(代)

第22回 新潟技調講演会 申込用紙

FAX・はがき・Mailのいずれかでご送付願います。

ふりがな 氏名	住所または所属会社名	連絡先 (電話番号)	CPDS申請 の希望
	〒		
	〒		
	〒		
	〒		
	〒		

(個人情報は、本講演会の開催目的以外には使用しません。)

◆新型コロナウイルス感染予防として、各自マスクをご用意いただき着用願います。
 また、入場にあたり、体温の測定・症状の有無の確認・手指の消毒を行いますのでご協力をお願いします。

◆全国土木施工管理技士会連合会 CPDS プログラム

本講演会は、全国土木施工管理技士会連合会CPDS プログラムです。プログラムの申請を希望される方は、記入欄に○を付けてください。申請者には当日受付時に、受講証明書引換券をお渡しいたします。閉会后引き換えに受講証明書を発行します。

なお、受講証明書の発行に際し、身分証明書による本人確認を行います。顔写真入り身分証明書(運転免許証、監理技術者資格証、CPDS資格者証など)をご持参ください。

FAX : 025-227-1205

Mail : pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp